

### 【教育理念】

将来の世界を担う優れた法曹養成を責務とする法科大学院においては、現代社会に生起する様々な問題に対して、法的思考に基づいた正義の観点から、それらを解決する能力を備えた人物を育成する教育を施すことが主眼となります。

最難関といわれる司法試験をクリアするためには、相応の努力が必要なのは当然のことですが、長年かけて積み上げられた法学の重厚な壁を前に闇雲に突進したのでは徒労に終わるばかりです。法学という膨大な知識体系に取り組むには光と羅針盤が不可欠です。この点、学園創設以来の少人数教育による懇篤な指導は、法科大学院においても貫徹されています。個々の学生の顔がみえるような教育体制が整えられることで、優秀な教授陣が、羅針盤として整理された知識を的確に教授することは勿論のこと、各人のリーガル・マインドを涵養するべく、正しい方向を照らす光がすべての学生にもれなくあたるよう腐心しています。

また、国際化・多様化を経験している現代においては、既存の解決枠組みでは対処できない難問が山積しています。もはや単なる「知識」の当て嵌めでは不十分であり、得た知識を如何に使っていくべきかという「智慧」が必要となり、それには、自らで思考し、問題解決のための最適な方法を見つけ出す能力が必須になってきます。この能力を培うために、本学では、広範な現代的問題を取り扱う双方向講義や演習において、深遠な思考を修練する場を提供するとともに、多くの法学未修者や社会人にも広く門戸を開放することで、多様なバックグラウンドをもつ学生たちの法的議論を可能にする交流の場が設定されています。

このような教育環境のなか、法学の専門知識と正義に根付いた法的倫理感を兼ね備えた優秀な法曹を世に送り出し、よりよき社会を構築していく一助となることが本学の教育理念であります。

### 【求める学生（大学院生）像】

法学の知識は、ときとして強力な武器となりえます。将来、法科大学院生が法曹となった暁には、法という強制力を伴った手段によって、同じ人間である他者を裁くという重責を担うこともあります。法曹として、常に、自分の判断に責任を持ち、社会の衡平の観点から他者を思いやる心が大切になってきます。また、近時急速に進む国際化に伴い、日本一国での常識の範疇を超えた問題も生起している時代にあっては、リーガル・マインドにも、バランスのとれた国際感覚が加味されることが必要です。

かかる観点から、自分の意見を持ち、それを表現することができ、その上で、他者の痛みを理解するとともに、様々な身分、経験、価値観をもった人々と協調性をもって共生できることが大切になります。このことは、他者との議論を通じて、自分と他者との一致点

と衝突点を見つけ出し、単に他者に自分を合わせるだけでなく、双方に納得のいく建設的な途を示す能力をもつ人物が社会で必要とされていることと同義です。さらに、現実社会を肌で知り、国際情勢に通じるとともに、十分な語学能力を有し、比較法的思考もできることに加えて、自身で自己管理をし、目標を設定し、環境をよりよく整え、自らの力で未来を切り拓けるタフな人材を、あるいは、そうなりたいという意志をもつ人材を、本学では強く求めます。

#### 【大学院入学までに身につけておくべき教科・科目等】

##### ①法学未修者コース

法学未修者には、一年間の間に、既修者がおよそ四年間かけて学んだ法学の基礎知識を身につけることが期待されておりますので、入学前に、主要科目（憲法・民法・刑法）についての平易な教科書を通読しておくことが望まれます。

また、法学の勉強には、多量の文章を精確に早く読むことが必須ですので、日々、様々な文章に触れるように努め、読解力を高めておいてください。さらに、自分の意見を論理的に述べる力、それを他者に理解しやすく明快に記述する能力も不可欠となりますので、様々な問題に対し、問題意識をもって接するようにしてください。

##### ②法学既修者コース

法科大学院での既修者向けの講義においては、法曹としてすぐに活用できるような高度かつ実践的な内容が、基礎知識が当然にあるものとして効率的に伝授されます。それらが無駄なく消化できるよう、法学の基礎的な知識を確立しておくことが必須となります。従って、主要科目・選択予定科目の法体系、重要判例の概要などは、十分に身につけておくことが期待されます。

さらに、両コースに共通することですが、それらの知識を習得する際には、ものごとの本質に思いを致すような深い思考を心がけてください。加えて、常日頃から世界や日本で生じている事件等に対して、何が問題なのか、問題の根底には何が存在するのか、それに対してどのような解決が出来るのか等、折に触れ、意識し思索し、自らの意見を構築する習慣をつけるようにしておいてください。そのためには、社会に関する深い見識が必要となりますので、歴史や芸術といった法学以外の社会科学に加えて、論理的思考や知的財産法等とも直結する数学や科学等の自然科学といった広範な分野へも関心を払っておくことが重要です。

以上を総合したうえで、自立し自律した精神の持ち主である学生が入学し、ともに学んでいくことを強く期待しております。